

**株式会社 ストリーム**  
**第24期 2023年1月期**  
**第2四半期決算関連資料**

**2022年9月16日 (金)**

東証スタンダード コード : 3071

<https://www.stream-jp.com/>

# 目 次



1. ストリームグループについて		
ストリーム会社概要	… 4	P
ストリーム会社沿革	… 5	P
ストリームグループ概要	… 6	P
ストリームグループ事業展開・サマリー	… 7- 8	P
インターネット通販事業 外部サイト構成	… 9	P
日本ネット経済新聞賞 受賞・『レントコ』恵比寿ガーデンプレイス「シェアコレ」出店	… 10-11	P
2. 第24期第2四半期決算概要		
家電量販店4社 業績推移（2019年～2022年）	… 13	P
第24期 第2四半期連結損益計算書概要・営業利益分析	… 14-15	P
第24期 第2四半期セグメント別業績・各商品カテゴリ別業績	… 16-18	P
第24期 第2四半期連結貸借対照表概要	… 19	P
第24期 第2四半期連結キャッシュ・フロー	… 20	P
(株)エックスワン トピックス	… 21	P
3. 第24期 通期業績予想		
第24期（2023年1月期）連結業績予想	… 23	P
参考資料	… 24	P

---

# 1. ストリームグループについて

# ストリーム会社概要



■ 社名	: 株式会社 ストリーム
■ 本社所在地	: 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-21 住友不動産御成門駅前ビル5F
■ 設立日	: 1999年7月23日
■ 2007年2月	: 東証マザーズ株式公開
■ 2018年6月	: 東証第二部へ市場変更
■ 2022年4月	: 東証スタンダードへ移行
■ 役員	
代表取締役社長	齊藤 勝久
取締役	斉 向東
取締役	右田 哲也
取締役	(※) 小手川 大助
常勤監査役	橋本 博人
監査役	(※) 露口 洋介
監査役	(※) 西 圭輔
	(※) 社外取締役・社外監査役

■ 資本金	: 924,429,500 円
■ 発行済株式数	: 28,525,000 株
■ 連結従業員数	: 92名
■ URL	: <a href="https://www.stream-jp.com/">https://www.stream-jp.com/</a>
<主な事業内容>	
■ インターネット通信販売の運営事業	
■ 化粧品・健康食品及び生活必需品の販売事業	
<株主の状況>	
	※2022年7月末現在
■ 株主数	: 12,888名
大株主	
劉 海濤	5,680,000 株 (20.81%)
株式会社ヤマダデンキ	5,660,000 株 (20.74%)
水谷 智	600,000 株 (2.2%)
王 文寿	459,000 株 (1.68%)
株式会社SBI証券	388,600 株 (1.42%)
日本証券金融株式会社	367,800 株 (1.35%)
	( )は、自己株式(1,236,500株)を控除した持株比率

# ストリーム会社沿革



1999年 7月	文京区湯島にて (株)ストリーム設立
2000年 11月	千代田区外神田へ本社移転
2002年 1月	ECサイト「Sunshine」を「ecカレント」としてリニューアル インターネット通販に本格参入
2002年 11月	「上海ストリーム」を中国上海市に設立
2005年 8月	(株)ベスト電器と業務提携及び資本提携に係る「基本合意書」を締結
2005年 9月	(株)ベスト電器との「フランチャイズ契約」を締結、家電販売を本格的に開始
2007年 2月	東京証券取引所「マザーズ市場」へ株式上場
2009年 2月	(株)イーベストの全株取得し子会社化
2009年 3月	(株)特価COM設立 (株)ストリーム80%・(株)ソフトクリエイト20%
2011年 11月	港区芝へ本社移転 「港区芝2-7-17 住友芝公園ビル14階」
2014年 1月	第三者割当による新株式発行 7,150株・新株予約権発行715個「増資後資本金 769,775,000円」
2014年 1月	「上海ストリーム」の全株式を譲渡
2014年 2月	(株)エックスワンの株式80%を取得し子会社化
2014年 9月	新株予約権行使 「発行済株式の総数 28,525,000株」 「増資後資本金 924,429,500円」
2018年 5月	(株)イーベスト及び(株)特価COMを(株)ストリームに吸収合併
2018年 6月	東京証券取引所マザーズ市場から市場第二部へ市場変更
2021年 3月	港区新橋へ本社移転 「新橋6-7-21 住友不動産御成門駅前ビル5階」
2022年 4月	東京証券取引所市場第二部から新市場区分のスタンダード市場へ移行

# ストリームグループ概要 (2022年7月末現在)



## ストリームグループ

### 株式会社 ストリーム

- 1999年7月設立
- ・インターネット通販  
家電・PC(周辺)  
レンタル
  - ・各種販売支援

### 株式会社 エックスワン

- 1987年10月設立
- ・化粧品・健康食品  
開発・販売



Ones mart



特価COM

X-one



インターネット通販事業

その他事業

ビューティー&  
ヘルスケア事業

グループ連結従業員総数 92名

# ストリームグループ事業展開



## ■ インターネット通販（インターネット通販事業）

アイテム数充実、在庫適正化及び外部サイト販促イベントの積極的な参加  
自社及び外部サイトのウェブ接客ツールのチャットを用いた配送設置サービス展開  
『e cカレント』商品購入前の設置等の悩みに答える「オンライン相談」サービス開始  
『レントコ』恵比寿ガーデンプレイス「シェアコレ」出店（2022年7-10月）  
「DMMいろいろレンタル」に「レントコ」の約500アイテムを掲載（2022年7月）

## ■ 化粧品・健康食品 開発・販売（ビューティー&ヘルスケア事業）

最先端バイオを駆使した新商品を開発し、ネット通販、直営店はじめ  
他社店舗への卸販売等新たな販路展開及び会員向けセミナー実施  
直営店舗「エックスリ्यूクス横浜」新規出店（2022年4月）

## ■ 各種販売支援、3PL（その他事業）

株式会社エックスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を展開  
『e cカレント』等インターネット通販サイト運営で培ったノウハウを基に、  
物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービス(3PL: 3rd Party Logistics)  
の本格的事業化

# インターネット通販 外部サイト構成



■外部サイト数: 13 (2022年7月末現在)



## 第6回「日本ネット経済新聞賞」受賞 (2022年6月)

### ■ 日本ネット経済新聞賞とは

新しいEC業界のリーダーを発掘することを目的とし、記者が取材して見出した今後さらなる成長が期待できるEC事業者を表彰 (2014年より実施)

#### 【家電ジャンル賞 受賞理由】

- ・ 巣ごもり需要を捉え、コロナ下でも高水準での成長を続けており、新しい施策や、商品開発力が高い
- ・ 2022年1月期におけるインターネット通販事業の売上高は、前年同期比10.1%増の288億5106万円
- ・ 近年はレンタル事業『レントコ』や中古販売等リユース家電の販売も活性化  
3PL事業等ECを軸に商圈を広げている



# 『レントコ』 恵比寿ガーデンプレイス「シェアコレ」出店 (2022年7~10月)

## ■ 『シェアコレ』 概要

サッポロ不動産開発株式会社が実施する様々なシェアリングアイテムやサービスをリアル空間に集めたコレクティブスペースで、実際に見て、触れて、体感することでシェアリングサービスの認知向上や利用促進を図り、時代に先駆けたサステナブルな新しい生活様式を提案する実証実験



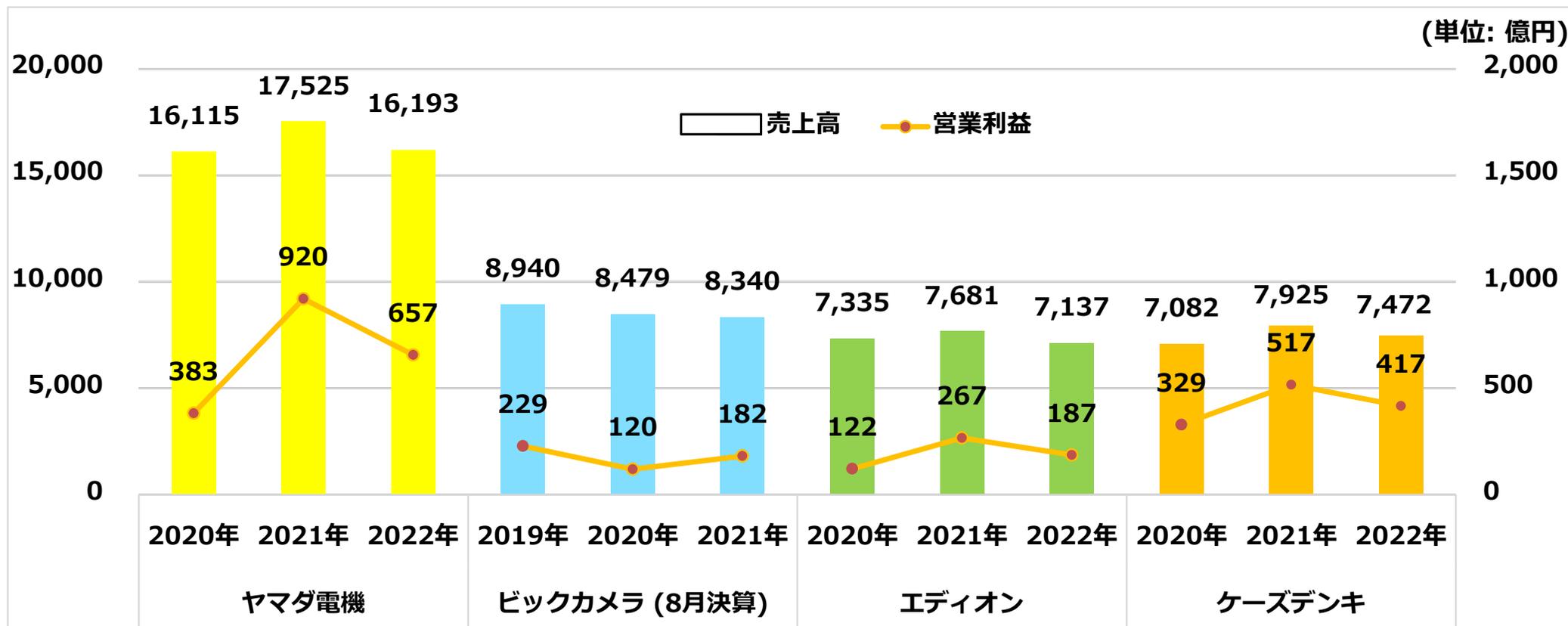
『レントコ』で提供している調理家電などのアイテムを7月6日より10月3日まで恵比寿ガーデンプレイス会場内に展示



---

## **2. 第 2 4 期 第2四半期決算概要**

# 家電量販店4社 業績推移 (2019-2022年 (3月期))



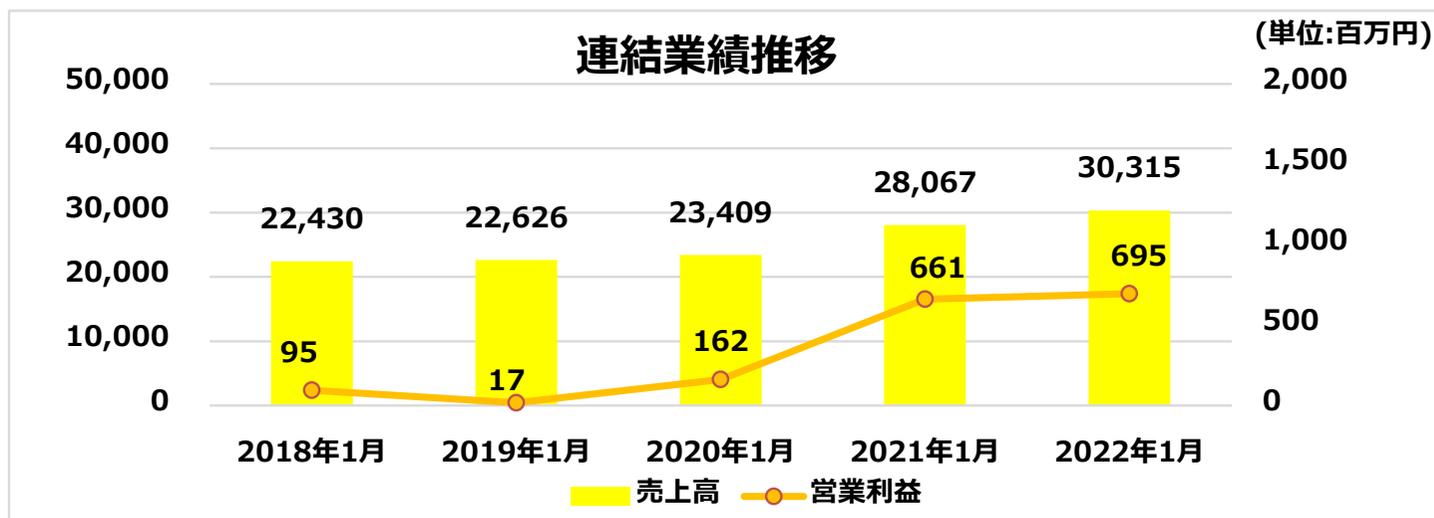
2022年上半期の家電小売市場規模は、前年比で3.9%の減少となった。製品分類別では、冷蔵庫、洗濯機、エアコンを主とする大型生活家電が前年を約8%上回った。一方、調理家電や空気清浄機など「巣ごもり需要」の恩恵を受けていた小型生活家電や、「テレワーク需要」が追い風となっていたIT関連製品およびテレビなどAV関連機器は前年を下回った。販売形態別では、オンライン販売の構成比は前年同期から微増の20%にとどまった。下半期は、前年同期に近い水準を維持し、22年通年では2%程度のマイナスとなると見ている。(GfKジャパン調べ)

# 第24期 第2四半期 連結損益計算書概要・連結業績推移



(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	前年同四半期比 増減率
売上高	14,636	15,559	※6.3%
売上原価	11,350	12,776	12.6%
売上総利益	3,286	2,783	△15.3%
販売一般管理費	3,010	2,629	△12.7%
営業利益	275	153	△44.3%
経常利益	270	142	△47.5%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	225	109	△51.2%

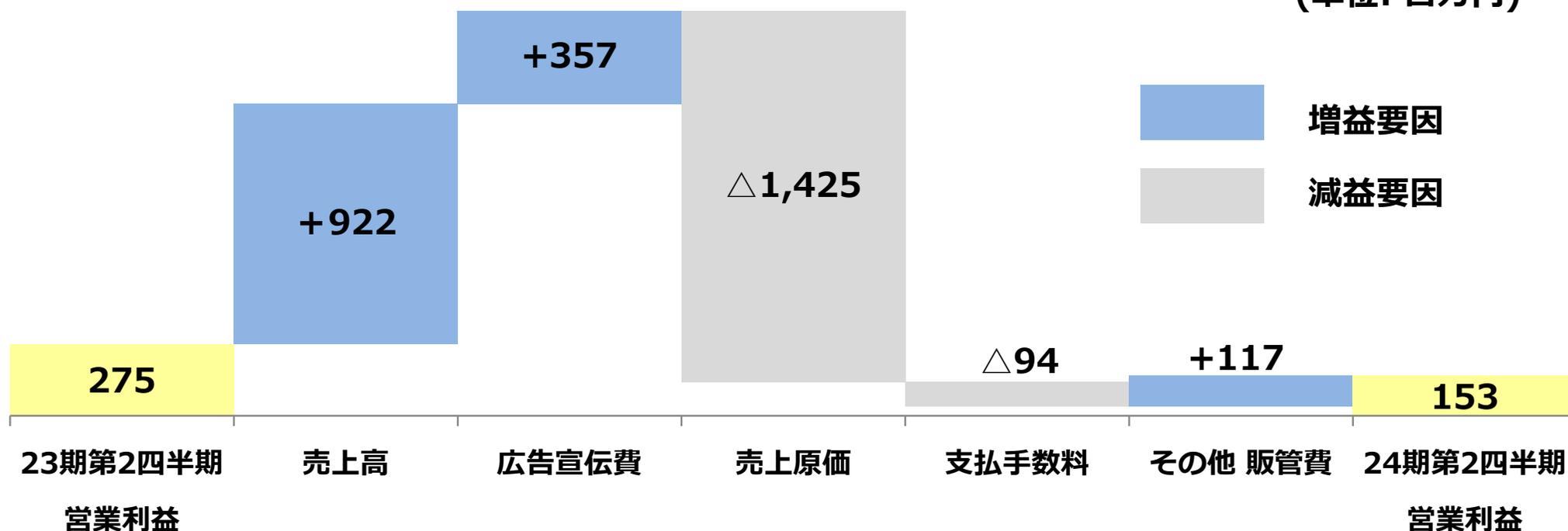
※収益認識に関する会計基準の適用前比較での売上高は、対前年同四半期比11.5%増



# 第24期 第2四半期 連結営業利益 増減分析 (前期比)



(単位: 百万円)



- ・ 増益要因 : インターネット通販事業(外部サイト)売上増
- ・ 減益要因 : 売上原価、支払手数料等の増加

## 第24期 第2四半期 セグメント別 業績

### インターネット通販事業 第2四半期 前年対比

(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	前年同四半期比 増減率
売上高	13,872	14,965	※7.9%
売上原価	11,147	12,545	12.5%
売上総利益	2,724	2,419	△11.2%
販売一般管理費	2,292	2,020	△11.9%
営業利益	431	399	△7.6%

※収益認識に関する会計基準の適用前比較での売上高は、対前年同四半期比12.6%増

### ビューティー&ヘルスケア事業 第2四半期 前年対比

(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	前年同四半期比 増減率
売上高	453	377	※△16.7%
売上原価	96	116	21.0%
売上総利益	356	260	△26.9%
販売一般管理費	393	351	△10.8%
営業利益	△37	△90	-

※収益認識に関する会計基準の適用前比較での売上高は、対前年同四半期比5.7%増

## 第24期 第2四半期 セグメント別 業績



### その他事業(各種販売支援、3PL) 第2四半期 前年対比

(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	前年同四半期比 増減率
売上高	348	257	△26.3%
売上原価	113	119	5.1%
売上総利益	235	137	△41.5%
販売一般管理費	192	112	△41.5%
営業利益	42	25	△41.3%

## 第24期 第2四半期 商品カテゴリ別 業績



### インターネット事業 商品カテゴリ別売上 第2四半期 前年対比

(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	増減額	2023年1月期 第2四半期累計 構成比
家電	7,599	8,719	1120	58.3%
パソコン	1,680	1,811	131	12.1%
周辺機器/デジカメ	4,009	3,829	△180	25.6%
その他	582	605	23	4.0%
合計	13,872	14,965	1,093	100.0%

### ビューティー&ヘルスケア事業 商品カテゴリー別売上 第2四半期 前年対比

(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期累計	2023年1月期 第2四半期累計	増減額	2023年1月期 第2四半期累計 構成比
パーソナル(化粧品)	266	195	△71	51.7%
ヘルスケア(健康食品)	153	111	△42	29.5%
その他	32	71	38	18.8%
合計	453	377	△75	100.0%

## 第24期 第2四半期 連結貸借対照表 概要

### 資産の部

(単位: 百万円)	第23期 2022年1月	第24期 2022年7月	増減額
流動資産	6,664	5,684	△979
固定資産	977	988	11
(有形固定資産)	166	177	11
(無形固定資産)	363	361	△2
(投資その他の資産)	446	449	2
資産合計	7,641	6,673	△967

### 負債純資産の部

(単位: 百万円)	第23期 2022年1月	第24期 2022年7月	増減額
流動負債	4,435	3,494	△941
固定負債	320	285	△34
負債合計	4,755	3,779	△975
純資産	2,885	2,893	8
(株主資本)	2,818	2,858	39
負債純資産合計	7,641	6,673	△967

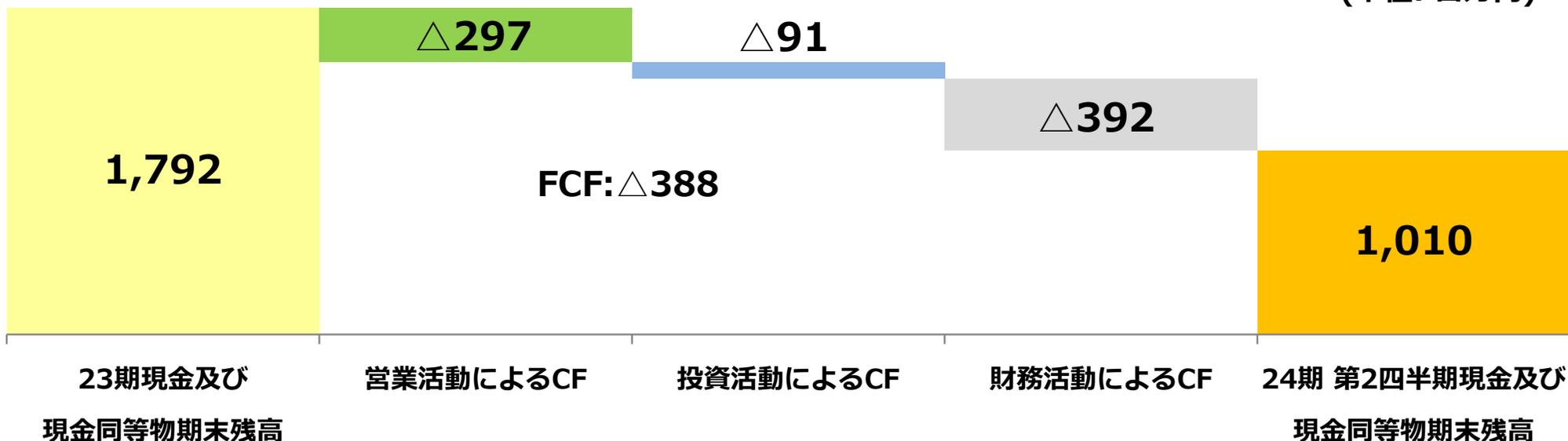
### トピックス

- ・ 資産は、現金及び預金781百万円減少、売掛金365百万円減少、商品194百万増加により、前連結会計年度末に比べ、967百万円減少
- ・ 負債は、買掛金575百万円減少、短期借入金265百万円減少、未払金57百万円減少により、前連結会計年度末に比べ、975百万円減少

# 第24期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー



(単位: 百万円)



- ・ 営業活動の結果使用した資金は、297百万円（前年同四半期は404百万円増加）で、収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益141百万円、売上債権の減少額365百万円、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額196百万円、仕入債務の減少額575百万円
- ・ 投資活動の結果使用した資金は、91百万円（前年同四半期は126百万円使用）で、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出23百万円、無形固定資産の取得による支出64百万円
- ・ 財務活動の結果使用した資金は、392百万円（前年同四半期は12百万円増加）で、支出の主な内訳は、短期借入金の純減額265百万円、長期借入金の返済による支出31百万円、配当金の支払額81百万円

# 株式会社エックスワン トピックス



2022年 4月	「美と健康」をテーマにした環境にやさしいサステナブルショップ 直営店舗「エックスリ्यूクス横浜」オープン
6月	先進の技術を美容分野に応用した 3種のハイブリッド ヒト幹細胞培養液配合美容液 エックスリ्यूクス プロケア リバーサーセラム 発表
7月	ハリと輝きのある美しい艶髪に導く スキンケア発想のエイジングケアアイテム エックスリ्यूクス ラデュワリー セラムシャンプー&セラムトリートメント 発表

「エックスリ्यूクス横浜」



『エックスリ्यूクス ラデュワリー セラムシャンプー(左)&セラムトリートメント(右)』



『エックスリ्यूクス プロケア リバーサーセラム』



**XLUXES**  
YOKOHAMA



---

### 3. 第24期 通期業績予想

## 第24期（2023年1月期）連結業績予想

(単位：百万円)

	第23期 実績	第24期 予想	前期比 増減率
売上高	30,315	31,629	4.3%
営業利益	695	341	△50.9%
経常利益	678	315	△53.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	518	197	△61.8%

---

## 參考資料

## 第24期 第2四半期 連結資産・負債

(単位: 百万円)	第23期 2022年1月	第24期 2022年7月	前期比 増減率
<b>流動資産</b>	6,664	5,684	△14.7%
現金及び預金	1,792	1,010	△43.6%
売掛金	1,908	1,543	△19.1%
商品	2,819	3,013	6.9%
<b>固定資産</b>	977	988	1.2%
有形固定資産	166	177	7.1%
無形固定資産	363	361	△0.6%
投資その他の資産	446	449	0.6%
<b>資産合計</b>	7,641	6,673	△12.7%
<b>流動負債</b>	4,435	3,494	△21.2%
買掛金	2,533	1,957	△22.7%
<b>固定負債</b>	320	285	△10.8%
<b>負債合計</b>	4,755	3,779	△20.5%
<b>株主資本</b>	2,818	2,858	1.4%
資本金	924	924	-
資本剰余金	876	888	1.3%
利益剰余金	1,169	1,197	2.4%
自己株式	△152	△152	-
<b>純資産</b>	2,885	2,893	0.3%
<b>負債純資産合計</b>	7,641	6,673	△12.7%

## 第24期 第2四半期 連結販売費一般管理費 主な費目



(単位: 百万円)	2022年1月期 第2四半期	2023年1月期 第2四半期	前年同四半期比 増減率
荷造及び発送費	513	442	△13.8%
給料手当及び賞与	426	444	4.2%
賞与引当金繰入額	4	4	-
広告宣伝費	1,107	※749	△32.3%
支払手数料	256	350	36.9%
販売手数料	244	※139	△43.1%
ポイント引当金繰入額	△0	※-	-

※当社グループが運営するポイント制度において、従来、顧客に付与したポイントの使用に備えるため、将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、その引当金繰入額を販売費及び一般管理費の広告宣伝費として計上しておりましたが、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、付与したポイントを履行義務として識別し、売上高から控除する方法に変更しております。

他社が運営するポイント制度に係る負担金について、従来は販売費及び一般管理費の広告宣伝費として計上しておりましたが、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、第三者のために回収する金額として、ポイント負担金を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

販売手数料等の顧客に支払われる対価について、従来は販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、変動対価として売上高から控除する方法に変更しております。

上記変更により、2023年1月期第2四半期 販売費及び一般管理費の主に広告宣伝費、販売手数料が減少しております。

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化などによりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

【IRに関するお問い合わせ先】  
(株)ストリーム 管理本部  
<https://www.stream-jp.com/contact/>